

第72期

平成20年4月1日▶▶平成21年3月31日

株主通信



株式会社 熊谷組

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

それでは第72期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の事業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国発の金融危機を契機に世界経済が急速に減退する中で、輸出や生産が大幅に落ち込み、これによる企業の減産が雇用情勢の悪化、個人消費の低迷につながるなど、景気は深刻な後退局面に陥りました。

建設業界におきましては、公共投資は下げ止まりの傾向はあるものの引き続き低調に推移し、民間設備投資も景気悪化に伴い大幅に減少したことに加え、金融収縮及び不動産市況の悪化によりマンションデベロッパーの破綻が相次ぐなど、事業環境は大変厳しいものとなりました。

当社グループはこのような状況のもと、平成20年5月に「着実な成長と進化」を目指して策定した「中期経営計画（平成20～22年度）」に基づき、業績向上へ向けた諸施策に全社一丸となって取り組んでまいりました。

業績の詳細につきましては、5ページ以下の事業報告に記載のとおりであります。急激な円高の進行により為替差損が発生したことや、取引先の破綻及び先行き不透明な経済環境を踏まえて回収に懸念のある債権に対して貸倒引当金繰入額を計上したことなどにより、多額の当期損失を計上いたしました。株主の皆様には多大なご心配、ご迷惑をおかけする結果となり、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

また剰余金の配当につきましては、当社グループを取り巻く経営環境が依然として不透明であることから、当連結会計年度は無配とさせていただくこととなり、株主の皆様には重ねてお詫び申し上げます。

今後のわが国経済は、企業の収益・資金調達環境が厳しさを増す中で設備投資が大幅に減少し、雇用・所得環境の低迷により個人消費も引き続き弱まっていくとみられることから、当面、景気の悪化が続くものと思われれます。

建設業界におきましては、公共投資は政府による追加経済対策への期待はあるものの、国・地方の厳しい財政状況から低調に推移し、住宅需要の低迷及び設備投資意欲の減退により民間建設投資も減少が見込まれるなど、依然として厳しい環境が続くものと予想されます。

このような状況の中で当社グループは、利益の確保を最大の課題と認識し、諸施策を実施してまいります。

国内土木事業につきましては、激化する公共工事における受注・利益の確保が最大の課題であり、かかる状況への対応として、技術支援機能を本社直轄として集約した「技術センター」を新たに設置し、技術提案力及び入札体制の

強化を図り、全社の総力を挙げて受注競争を勝ち抜いてまいります。民間工事においては「電力・エネルギー」「鉄道」分野を重点分野と位置付け受注活動を展開するとともに、「モバイル事業（携帯電話の無線基地局建設）」の継続拡大を図ってまいります。また「環境リニューアル」分野につきましては、グループ企業との連携のもと技術営業の推進ならびに新規顧客の開拓を強化してまいります。

国内建築事業につきましては、民間建設投資が縮小する中での受注・利益の確保が最大の課題であります。これに対しては、継続的に発注いただいているお客様との信頼関係をさらに向上させることに加え、「PFI」「官庁工事」「リニューアル・リノベーション」分野での受注拡大を強力に推進してまいります。「住宅」分野につきましては、資金負担、リスクの極小化を図りながら優良なお客様への営業活動を強化してまいります。また、利益確保につきましては、受注までの利益のつくり込みに重点を置き、設計およびコストダウン提案力、積算力、調達力の強化を図ってまいります。

海外事業につきましては、カントリーリスク及び為替変動リスクを考慮したうえで、安定的な収益が見込める事業構造の構築を目指してまいります。

当社グループといたしましては、引き続き「お客様に感動を」をスローガンとして掲げ、安全の確保、品質の確保、誠実な営業、誠実な施工、誠実なフォロー、法の完全遵守を徹底し、「どこよりも信頼される誠実な企業」の実現を目指してまいります。併せて株主の皆様のご期待に応えるべく、役職員をあげて一日も早い業績の回復に向け、社業に全力で取り組んでまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

取締役社長

大田 弘



TOPICS

黒部の太陽

舞台・ドラマの制作に協力しました。

昭和31（1956）年、高度成長期の深刻な電力不足を解消するために、関西電力は黒部ダム（黒部川第四発電所）の建設に踏み切りましたが、このプロジェクトの成否の鍵を握ったのが当社が施工にあたった関電（旧大町）トンネルの建設でした。掘削に際しては大量の地下水が噴出する破碎帯に遭遇し、工事続行が不可能とも思われましたが、当社は関西電力と共にトンネル技術の英知を結集してこれを突破、昭和33（1958）年に貫通させました。この難工事のちに三船敏郎さんと石原裕次郎さんにより「黒部の太陽」として映画化され、当時としては戦後最大のヒットとなりましたが、貫通から50年を迎えた昨年から今年にかけ、「黒部の太陽」を再度演じる動きが相次ぎ、当社もこれに協力しました。

舞台

平成20年10月、中村獅童さん主演による舞台「黒部の太陽」が上演されました。舞台上に本物の水20トンを使用し、破碎帯を表現するという画期的な演出が行われましたが、当社は技術研究所で実際の舞台装置による通水テストを行うなど、技術面で指導・監修しました。その結果、迫力ある出水シーンは話題を呼び、多くの観客動員を達成することができました。



（技術研究所での通水テスト）

ドラマ

平成21年3月、フジテレビ開局50周年記念として、香取慎吾さん主演によるドラマ「黒部の太陽」が放映されました。同局ドラマ史上最高規模の制作費をかけた超大作の完成に向け、当社もトンネル工事のプロが技術指導を行うなど全面協力し、台本ではカバーできないところを担いました。



（現在の関電（旧大町）トンネル）



（施工当時の坑内）

安全

災害・事故のない「安全」な現場の形成に取り組んでいます。

平成20年5月、当社の労働安全衛生マネジメントシステムは建設業労働災害防止協会によりCOHSMS 全社認定第1号として選定されました。

COHSMS（建設業安全衛生マネジメントシステム）とは、建設業において事業者自らが仕組み（システム）を構築して「事業に潜在する災害要因の除去・低減」、「労働者の健康増進と快適職場の形成の促進」及び「企業の安全衛生水準の向上」を図るものです。当社は平成11年に労働安全衛生マネジメントシステム導入以来、安全成績が確実に向上し、業界トップクラスを維持しています。



超電導リニア

最先端プロジェクトに参画しております。

この度、当社を代表者とする共同企業体は、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構から山梨リニア実験線の延伸工事の一部を受注しました。（受注工区延長1,986m、内：橋梁工事1,085m、トンネル工事580m、路盤工事など）

超電導リニアは、車両搭載の超電導磁石と地上コイル間の磁力により非接触で浮上して走行します。このため、時速500kmでの超高速・安定走行が可能になるほか、加減速性能にも優れ、質の高い輸送サービスが提供されることとなります。

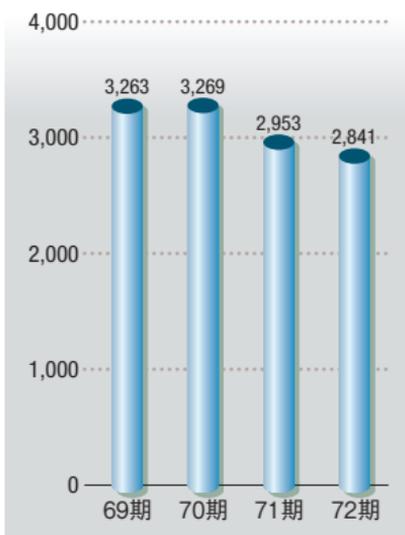
東海旅客鉄道株式会社では、東海道新幹線バイパス（中央新幹線）を実現する際には、超電導リニアの採用が最もふさわしいとの考えから、山梨リニア実験線の先行区間18.4kmにおいて超電導リニアの技術開発を推進するとともに、平成18年9月には実験線を42.8kmに延伸することを決定しています。

実験線の延伸工事は、平成25年度末の完成を目標としており、当社は本プロジェクトの一翼を担い、目標どおりに完工すべく鋭意邁進します。

● 連結

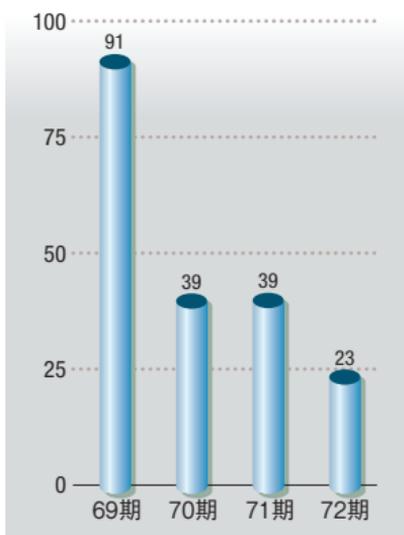
■ 売上高

(億円)



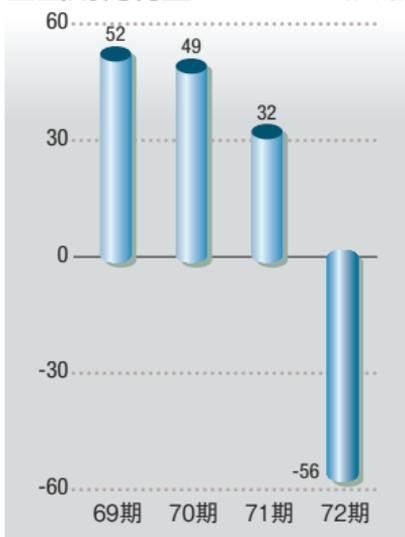
■ 経常利益

(億円)



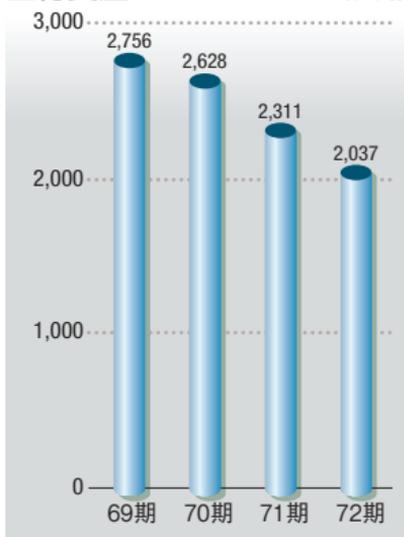
■ 当期純利益

(億円)



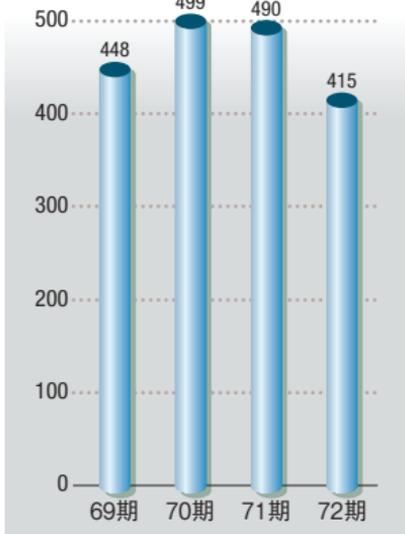
■ 総資産

(億円)



■ 純資産

(億円)



当連結会計年度における当社グループの連結業績につきましては、売上高は、主として連結子会社において減収となったため、前連結会計年度比38%減の2,841億円となりました。利益は、連結子会社における利益率が向上したものの、当社において競争の激化により採算性が低下したことや、急激な円高の進行による為替差損が発生したことにより、営業利益は同172%減の42億円、経常利益は同41.6%減の23億円となりました。また、取引先の破綻及び先行き不透明な経済環境を踏まえて回収に懸念のある債権に対して貸倒引当金繰入額を計上したことなどから、当期純損失は56億円となりました。

また、当社の業績につきましては、以下のとおりであります。

受注高は、国内建築工事の減少等により前年度比15.1%減の2,166億円となりました。このうち、土木工事は720億円、建築工事は1,445億円であり、これらの発注者別内訳は官庁22.2%、民間77.8%であります。また、国内、海外別で見ますと、国内工事は2,154億円、海外工事は11億円であります。

売上高は、同0.8%減の2,267億円となりました。このうち、土木工事は753億円、建築工事は1,514億円であり、これらの発注者別内訳は官庁21.2%、民間78.8%であります。また、国内、海外別で見ますと、国内工事は2,212億円、海外工事は54億円であります。

翌事業年度への繰越高は、同45%減の2,263億円となりました。このうち、海外工事は42億円であります。

利益につきましては、採算性低下及び為替差損の発生により経常利益は同30.7%減の15億円となり、貸倒引当金繰入額の計上等により当期純損失は58億円となりました。

部門別受注高・売上高・繰越高（単体）

（単位：億円）

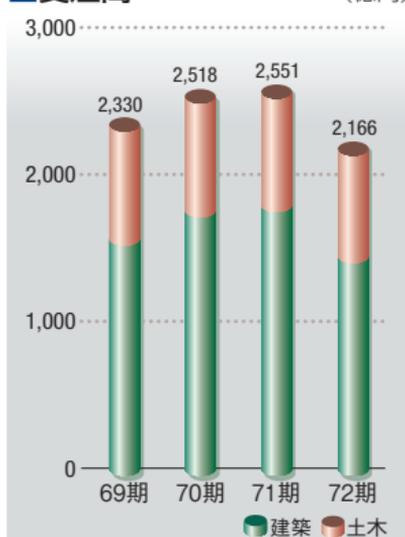
区 分	前事業年度繰越高	当事業年度受注高	当事業年度売上高	翌事業年度繰越高
土 木	888	720	753	850
建 築	1,481	1,445	1,514	1,412
合 計	2,369	2,166	2,267	2,263

（注）翌事業年度繰越高に含まれる海外工事の繰越高について、為替相場の実勢を反映させるため、事業年度末レートで修正しており、この減少額は5億円であります。

●単体

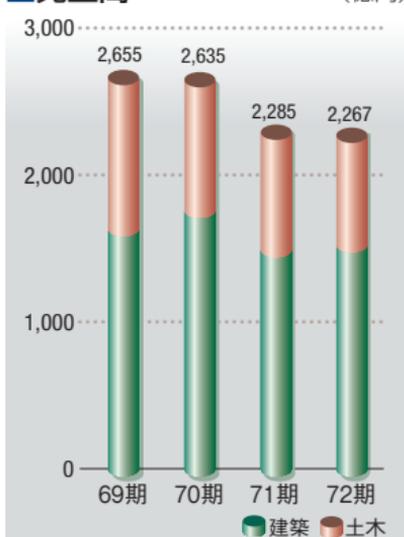
■受注高

（億円）



■売上高

（億円）



COMPLETED



スズキ相良工場（静岡県）

「価値ある製品」をものづくりの根底におくスズキ株式会社の新設された相良工場です。当社は“チームスズキ”を合言葉に造成、工場等を施工しました。



BELISTAタワー東戸塚（神奈川県）

JR東戸塚駅に隣接する26階建の住居、店舗、事務所が入る複合ビルです。住居は高層階に限定され優れた眺望であるとともに、免震構造、オール電化など快適で安心な暮らしを提供します。



九州新幹線氷川橋梁（熊本県）

九州新幹線の新八代駅と熊本駅の区間内にある氷川に架かる全長400mの橋梁です。氷川には絶滅危惧種のクロツラヘラサギが越冬のため飛来することから、施工に際しては越冬地保護のために特段の配慮を要しました。



近江町いちば館（石川県）

石川県金沢市の中心部に位置し、長きにわたり「金沢市民の台所」として親しまれてきた近江町市場の新館です。施工において既存の建物を解体しないで移築する「曳家工法」が行われ注目されました。

COMPLETED



タイムズ・ピース・スクエア（大阪府）

3棟からなる住宅棟の総戸数が1,000戸を有する大型マンションです。緑豊かな敷地内にはスポーツアリーナ、保育園、イベントプラザなどの共有施設を有し、ひとつの街のようなコミュニティを形成しています。



ジャスコ日吉津店（鳥取県）

ソーラーパネルや壁面緑化等を採用した環境配慮型店舗として増築、改築が行われた山陰地区最大のショッピングセンターです。



津田沼中央総合病院（千葉県）

20を超える診療科を持ち地域の高度医療を担う総合病院の新病棟です。施工に際しては隣接する既存病棟の運営に支障がでないよう細心の注意が払われました。



三本木原トンネル（青森県）

青森県上北郡六戸町、上北町、十和田市にまたがる全長約4.3kmの東北新幹線のトンネルです。施工において採用された新しいトンネル工法「SENS」は高い評価を受け、第37回日本産業技術大賞審査委員会特別賞を受賞しました。

決算の概要（連結）

●連結貸借対照表の要旨

（単位：億円）

科目	期別	第71期 (平成20年 3月31日現在)	第72期 (平成21年 3月31日現在)	科目	期別	第71期 (平成20年 3月31日現在)	第72期 (平成21年 3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		1,841	1,561	流動負債		1,562	1,397
現金預金		329	353	支払手形・工事未払金等		949	826
受取手形・完成工事未収入金等		1,235	985	短期借入金		288	251
未成工事支出金		78	106	未成工事受入金		110	131
繰延税金資産		32	21	預り金		115	86
その他		167	94	その他		97	102
固定資産		469	475	固定負債		257	224
有形固定資産		143	143	長期借入金		81	50
建物・構築物		30	28	退職給付引当金		175	173
土地		102	102	その他		0	0
その他		11	11	負債合計		1,820	1,622
無形固定資産		12	7	(純資産の部)			
投資その他の資産		313	325	株主資本		463	399
投資有価証券		152	128	資本金		133	133
繰延税金資産		87	96	資本剰余金		79	78
その他		72	99	利益剰余金		255	191
資産合計		2,311	2,037	自己株式		△5	△5
				評価・換算差額等		14	3
				少数株主持分		13	12
				純資産合計		490	415
				負債純資産合計		2,311	2,037

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 228億円（前連結会計年度225億円）
2. 金額の億円未満は切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書の要旨

（単位：億円）

科目	期別	第71期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	第72期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高		2,953	2,841
売上原価		2,752	2,651
売上総利益		200	189
販売費及び一般管理費		149	146
営業利益		51	42
営業外収益		5	4
営業外費用		17	23
経常利益		39	23
特別利益		18	9
特別損失		9	77
税金等調整前当期純利益又は純損失(△)		48	△45
法人税、住民税及び事業税		5	4
法人税等調整額		10	6
少数株主利益		0	0
当期純利益又は純損失(△)		32	△56

(注) 1. 1株当たり当期純利益又は純損失(△) △33円11銭（前連結会計年度17円31銭）
2. 金額の億円未満は切り捨てて表示しております。

●連結株主資本等変動計算書の要旨

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)
(単位：億円)

	株主資本					評価・ 換算 差額等	少数 株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計			
平成20年3月31日残高	133	79	255	△5	463	14	13	490
連結会計年度中 の変動額								
剰余金の配当			△7		△7			△7
当期純損失			△56		△56			△56
自己株式の取得				△0	△0			△0
自己株式の処分		△0		0	0			0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△10	△0	△11
連結会計年度中の変動額合計	—	△0	△63	0	△64	△10	△0	△75
平成21年3月31日残高	133	78	191	△5	399	3	12	415

(注) 金額の億円未満は切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：億円)

科 目	期 別	第71期	第72期
		(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△141	89
投資活動によるキャッシュ・フロー		3	23
財務活動によるキャッシュ・フロー		△75	△76
現金及び現金同等物に係る換算差額		△5	△11
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額		△219	24
連結子会社の合併による現金及び 現金同等物の増加・減少(△)額		—	0
現金及び現金同等物期首残高		548	328
現金及び現金同等物期末残高		328	353

(注) 金額の億円未満は切り捨てて表示しております。

●連結の範囲について

連結子会社10社及び持分法適用関連会社4社

〈主要な連結子会社〉

株式会社ガイアートT・K (東京都新宿区)

テクノス株式会社 (愛知県豊川市)

ケーアンドイー株式会社 (東京都新宿区)

華熊營造股份有限公司 (台湾)

決算の概要（単体）

●貸借対照表の要旨

（単位：億円）

科 目	期 別	第71期 (平成20年3月31日現在)	第72期 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		1,470	1,245
現金預金		196	234
受取手形		130	58
完成工事未収入金		899	763
未成工事支出金		51	77
繰延税金資産		30	17
その他		160	92
固定資産		385	389
有形固定資産		96	95
建物・構築物		17	16
土地		75	75
その他		3	3
無形固定資産		7	3
投資その他の資産		282	290
投資有価証券		99	78
関係会社株		36	33
繰延税金資産		63	71
その他		82	106
資産合計		1,856	1,634
(負債の部)			
流動負債		1,336	1,203
支払手形		330	329
工事未払金		475	350
短期借入金		284	247
未成工事受入金		23	35
未預りの金		79	107
その他		87	78
固定負債		55	53
長期借入金		218	201
退職給付引当金		80	50
その他		137	150
負債合計		0	0
負債合計		1,554	1,405
(純資産の部)			
株主資本		289	223
資本金		133	133
資本剰余金		79	78
利益剰余金		81	15
自己株式		△4	△4
評価・換算差額等		12	5
純資産合計		302	229
負債純資産合計		1,856	1,634

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 115億円（前事業年度116億円）
 2. 金額の億円未満は切り捨てて表示しております。

●損益計算書の要旨

(単位：億円)

科 目	期 別	第71期	第72期
		(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売 上 高		2,285	2,267
売 上 原 価		2,140	2,129
売 上 総 利 益		145	137
販売費及び一般管理費		111	112
営 業 利 益		33	24
営 業 外 収 益		5	14
営 業 外 費 用		16	23
経 常 利 益		22	15
特 別 利 益		13	6
特 別 損 失		17	73
税引前当期純利益又は純損失(△)		19	△50
法人税、住民税及び事業税		△0	△0
法 人 税 等 調 整 額		11	8
当期純利益又は純損失(△)		8	△58

(注) 1. 1株当たり当期純利益又は純損失(△) △34円25銭(前事業年度2円40銭)
2. 金額の億円未満は切り捨てて表示しております。

●株主資本等変動計算書の要旨

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：億円)

	株主資本					評 価 ・ 算 等 換 差 額	純 資 産 合 計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資 本合計		
平成20年3月31日残高	133	79	81	△4	289	12	302
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△7		△7		△7
当期純損失			△58		△58		△58
自己株式の取得				△0	△0		△0
自己株式の処分		△0		0	0		0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△6	△6
事業年度中の変動額合計	—	△0	△66	0	△66	△6	△72
平成21年3月31日残高	133	78	15	△4	223	5	229

(注) 金額の億円未満は切り捨てて表示しております。

役員の状況 (平成21年6月26日現在)

取締役及び監査役

取締役社長 (代表取締役)	大田 弘	常務取締役	草桶昌之
取締役副社長 (代表取締役)	吉田孝男	常勤監査役	矢崎文夫
取締役副社長	高木秀宣	常勤監査役	櫻井秀人
専務取締役	新井克人	監査役	小嶋正己
専務取締役	船本隆則	監査役	篠原啓慶
常務取締役	佐塚和夫	監査役	垣見 隆
常務取締役	石垣和男		

(注) 監査役小嶋正己、篠原啓慶及び垣見隆の各氏は社外監査役であります。

執行役員

※執行役員社長	大田 弘	執行役員	林 直樹
※執行役員副社長	吉田孝男	執行役員	伊藤 隆
※執行役員副社長	高木秀宣	執行役員	森次誠治
※専務執行役員	新井克人	執行役員	牧野有孝
※専務執行役員	船本隆則	執行役員	三木康弘
専務執行役員	武田和夫	執行役員	佐藤精一
専務執行役員	市川康生	執行役員	藤原孝二
※常務執行役員	佐塚和夫	執行役員	栗林棟一
※常務執行役員	石垣和男	執行役員	竹内英健
※常務執行役員	草桶昌之	執行役員	石蔵陽一
常務執行役員	松浦良和	執行役員	永島 仁
常務執行役員	武藤隆夫	執行役員	樋口 靖
常務執行役員	田中修市	執行役員	高田正治
常務執行役員	吉川 定		
常務執行役員	作本裕行		

(注) ※印は取締役兼務であります。

会社の概要 (平成21年3月31日現在)

創 業	明治31年1月	資 本 金	133億4,116万2,615円
設 立	昭和13年1月	従 業 員 数	2,596名

主要な営業所等

本 店

福井市中央2丁目6番8号
〒910-0006 TEL (0776)21-2700

東京本社

東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL (03)3260-2111

北海道支店

札幌市中央区南1条西6丁目11番地
〒060-0061 TEL (011)261-7271

東北支店

仙台市青葉区上杉5丁目3番36号
〒980-0011 TEL (022)262-2811

首都圏支店

東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL (03)3260-4750

名古屋支店

名古屋市中区栄4丁目3番26号
〒460-8402 TEL (052)238-3011

北陸支店

金沢市小金町9番18号
〒920-8721 TEL (076)253-3100

関西支店

大阪市都島区東野田町1丁目5番14号
〒534-0024 TEL (06)6353-3443

中四国支店

広島市中区大手町4丁目6番16号
〒730-0051 TEL (082)241-3222

四国支店

高松市今里町1丁目22番9号
〒760-0078 TEL (087)862-2011

九州支店

福岡市中央区大手門1丁目4番1号
〒810-0074 TEL (092)721-0011

国際支店

東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL (03)3235-8639

技術研究所

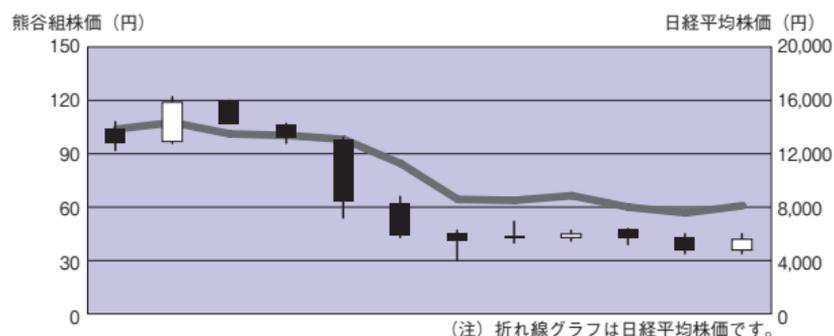
つくば市鬼ヶ窪1043番地
〒300-2651 TEL (029)847-7501

海外拠点

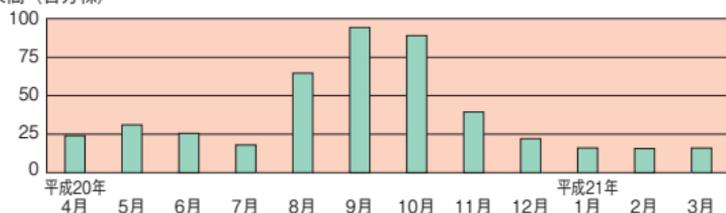
中国（上海、香港）、台湾、タイ、フィリピン、ベトナム、スリランカ、パプアニューギニア

- (注) 1. 平成21年2月28日付をもって福井支店を廃止いたしました。
2. 平成21年4月1日付にて広島支店を中四国支店に組織変更いたしました。

株価／出来高の推移 (平成20年4月～平成21年3月)



出来高 (百万株)



株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、次頁の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である次頁の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、次頁の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買増請求のお取扱いについて

単元未満株式（1,000株未満の株式）をご所有の場合、その単元未満株式数と併せて単元株式数（1,000株）となる株式数について、当社に買増請求をすることができます。お手続きの詳細につきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は口座のある証券会社に、証券会社に口座を開設されていない株主様は、次頁の電話照会先にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日 そのほか必要あるときは、あらかじめ 公告して定めた日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネット ホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/ STA/retail/service/daiko/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載します。 < http://www.kumagaigumi.co.jp/ > ただし、事故その他やむを得ない事由 によって電子公告による公告をすること ができない場合は、日本経済新聞に 掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所

ご希望の方には「くまがいニュース2009DVD」をお送りします

「くまがいニュース」は各年度における施工実績、最新の技術、表彰案件など当社の事業活動を紹介するものです。

ご希望の方はメールまたはFAXで「くまがいニュース2009DVD希望」と書き、送付先の郵便番号、住所、氏名を下記当社「くまがいニュース2009DVD」請求先までお知らせください。

なお、お知らせいただいた個人情報は、「くまがいニュース2009DVD」の送付のみに使用させていただきます。

「くまがいニュース2009DVD」請求先

(メールアドレス) info@ku.kumagaigumi.co.jp

(FAX) 03-5261-3716

表紙写真：上北トンネル（青森県）

八戸駅から青森方面約30kmに位置する東北新幹線のトンネルです。当社は全長約1.1kmのトンネルをNATM工法と開削工法で施工したほか、隣接する高架橋及び路盤の工事を行いました。

